

令和4年8月1日

特別支援教室拠点校校長様  
自閉症・情緒障害学級設置校校長様  
巡回指導教員様  
特別支援学級担任様

東京都公立学校情緒障害教育研究会  
会長 伊藤 康次  
(墨田区立業平小学校長)

## 令和4年度 都情研 実態調査のお願い

甚暑の候となりました。貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より情緒障害教育につきましては多大なご理解を賜り、お礼申し上げます。

さて、今年度も令和4年度実態調査を実施させていただきます。この調査は、東京都における情緒障害教育の実態を把握・分析して課題を明らかにし、今後の情緒障害教育の推進・発展に役立てる事を目的としています。

今年度から、ウェブアンケートによる調査を実施いたします。昨年度までと回答の仕方が異なりますのでご注意ください。

ご多用の折りとは存じますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 記

#### 1、調査方法

**8月1日現在**の内容で、都情研ホームページからご回答ください。

特別支援教室拠点校巡回指導教員及び自閉症・情緒障害特別支援学級担任がご回答ください。

#### 2、調査項目について

- ・教室・学級経営に関する調査
- ・児童生徒の実態に関する調査
- ・卒業生の進路に関する調査

※自治体単位の調査（対象学校・判定会・研修に関する調査）については、地区連絡係に向けて別途 Excel データによる提出をお願いしています。

#### 3、配布方法

都情研ホームページのトップページ【新着・お知らせ】に実態調査のお願いが掲載されています。そこからウェブアンケートの回答フォームに移動してください。

都情研ホームページ：<https://www.tojyoken.com/>



#### 4、提出方法・期限

**8月31日(水)**までにウェブアンケートにて回答。期限厳守。

※アンケートは前半(1/2)と後半(2/2)の2つに分かれています。

※最後の【送信】ボタンを押すまでは提出されていません。

※途中までの回答を保存することはできませんので、ご注意ください。

- ・調査内容についての問い合わせ先  
都情研本部調査係 中村 章 立川市立立川第三中学校 042-523-4348
- ・回答の仕方についての問い合わせ先  
都情研本部調査係 猪狩 拓也 墨田区立菊川小学校 03-3634-8176
- ・その他、ご不明な点等の問い合わせ先  
都情研事務局メール tojyoken2016office@gmail.com

【教室1/2】R4都情研 特別支援教室調査(1)

<回答校>

1. 【 区立・市立・町立・村立 】
2. 拠点校名 【 \_\_\_\_\_ 】
3. 記入者氏名 【 \_\_\_\_\_ 】
4. 巡回校数(拠点校+巡回校) 【 \_\_\_\_\_ 校】

<児童の実態 在籍人数>(7月10日認可数)

5. 1年生の人数 【 \_\_\_\_\_ 人】
6. 2年生の人数 【 \_\_\_\_\_ 人】
7. 3年生の人数 【 \_\_\_\_\_ 人】
8. 4年生の人数 【 \_\_\_\_\_ 人】(中学は0にしてください)
9. 5年生の人数 【 \_\_\_\_\_ 人】(中学は0にしてください)
10. 6年生の人数 【 \_\_\_\_\_ 人】(中学は0にしてください)

<障害別人数>

※都情研調査係による、児童生徒の理解および適切な指導や教育環境、研修体制の充実を図るための教育的分類です。判断は指導にあたる担任に先生が行ってください。診断の有無は問いません。

・重複はしないでください。重なる部分もあると思いますが、現在学級での指導に重点を置いている方で分類をしてください。

11. ★自閉スペクトラム症(ASD) 【 \_\_\_\_\_ 人】  
※「自閉スペクトラム症(ASD)」とは、自閉症、自閉傾向、アスペルガー症候群、高機能自閉、広汎性発達障害(PDD)を含む。自閉スペクトラム障害という概念で統一します。
12. 自閉のうち知的に遅れありの数 【 \_\_\_\_\_ 人】  
※「知的発達の遅れなし」の基準は、おおむね学年相当の教科学習に参加できる程度とします。  
※「自閉スペクトラム症(ASD)」とは、自閉症、自閉傾向、アスペルガー症候群、高機能自閉、広汎性発達障害(PDD)を含む。自閉スペクトラム障害という概念で統一します。
13. 自閉のうち不登校状態の数 【 \_\_\_\_\_ 人】  
※「不登校状態」の基準は、年間欠席30日以上とします。
14. ★ADHD 【 \_\_\_\_\_ 人】
15. ADHDのうち知的遅れありの数 【 \_\_\_\_\_ 人】
16. ADHDのうち不登校状態の数 【 \_\_\_\_\_ 人】
17. ★情緒不安定 【 \_\_\_\_\_ 人】  
※「情緒不安定」とは、心因性の行動障害や不安障害が考えられる状態です。選択性かん黙(場面かん黙)、愛着障害、不適応状態等を含みます。
18. 情緒不安定のうち知的遅れあり 【 \_\_\_\_\_ 人】
19. 情緒不安定のうち不登校状態の数 【 \_\_\_\_\_ 人】
20. ★LD 【 \_\_\_\_\_ 人】
21. LDのうち知的遅れありの数 【 \_\_\_\_\_ 人】
22. LDのうち不登校状態 【 \_\_\_\_\_ 人】
23. その他 【 \_\_\_\_\_ 人】
24. その他のうち知的遅れありの数 【 \_\_\_\_\_ 人】
25. その他のうち不登校状態の数 【 \_\_\_\_\_ 人】

<「医師から診断されている障害名」別の数>

26. 自閉症 【 人】

27. ADHD 【 人】

28. LD 【 人】

29. 発達障害に関わる服薬をしている数 【 人】

該当する薬例 「コンサータ」(メチルフェニデート)・「ビバンセ」(リスデキサンフェタミン)・「ストラテラ」(アクセプト) (アトモキセチン)・「インチュニブ」(グアンファシン)・「エビリファイ」(アリプラゾール)・「リスパダール」(リスペリドン)

<入退室について(前年度)>

30. 年度途中での入室の人数 【 人】

31. 判定に関わる 在籍人数が多く、入室待機となったケース 【 有・無】

32. 退級の人数 【 人】(年度末分を含む・卒業生は含まない)

<退級の理由>

33. 課題の改善 【 人】

34. 固定級(知的)への転学辞退 【 人】

35. 固定級(情緒)への転学 【 人】

36. 転居・転出 【 人】

37. 不登校による 【 人】

38. 本人による 【 人】

39. 保護者による 【 人】

40. 指導期間上限 【 人】

<教員について>

41. 教員総数 【 人】

<教員数>

42. 主幹教諭 【 人】

43. 指導教諭 【 人】

44. 主任教諭 【 人】

45. 教諭 【 人】

<代替教員数>

46. 産休代替 【 人】

47. その他 【 人】

<教員経験別の人数>

48. 0年 【 人】

49. 1~2年 【 人】

50. 3~5年 【 人】

51. 6~9年 【 人】

52. 10~19年 【 人】

53. 20~年 【 人】

<特別支援教室経験年数(情緒障害学級含む)別の人数>

54. 0年 【 人】

55. 1~2年 【 人】

56. 3~5年 【 人】

57. 6~9年 【 人】

58. 10~19年 【 人】

59. 20~年 【 人】

<週指導時間(授業コマ)数別の人数>

60. ~9時間 【 人】

61. 10~14時間 【 人】

62. 15~19時間 【 人】

63. 20~24時間 【 人】

64. 25時間~ 【 人】

<校内委員会への参加(拠点校+巡回校)>

65. 必ず参加している校数 【 校】

66. 必要に応じて参加している校数 【 校】

67. ほとんど参加していない校数 【 校】

【教室2/2】R4都情研 特別支援教室調査(2)

1. 回答拠点校 【 \_\_\_\_\_ 】

<指導の実態>

<指導内容>

2. 自立活動で特によく取り上げている内容を4つまで選んで下さい。【4つまで選択】

・学習態勢、基本的行動様式

・言語、コミュニケーション

・集団参加、社会的行動

・運動能力

・認知、概念形成

・自己理解、行動調整

・将来を見通した基礎学力

<指導形態別人数>

3. 個別指導(小集団指導は全くない)のみ 【 \_\_\_\_\_ 人】

4. 小集団指導(一对一の指導は全くない)のみ 【 \_\_\_\_\_ 人】

5. 個別と小集団の両方 【 \_\_\_\_\_ 人】

<週あたり指導時数別人数>

6. 1時間未満(月1等) 【 \_\_\_\_\_ 人】

7. 1時間 【 \_\_\_\_\_ 人】

8. 2時間 【 \_\_\_\_\_ 人】

9. 3時間 【 \_\_\_\_\_ 人】

10. 4時間 【 \_\_\_\_\_ 人】

11. 5時間 【 \_\_\_\_\_ 人】

12. 6時間 【 \_\_\_\_\_ 人】

13. 7時間 【 \_\_\_\_\_ 人】

14. 8時間 【 \_\_\_\_\_ 人】

15. 9時間以上 【 \_\_\_\_\_ 人】

<週あたり指導日数別人数>

16. 週1日未満 【 \_\_\_\_\_ 人】

17. 週1日 【 \_\_\_\_\_ 人】

18. 週2日 【 \_\_\_\_\_ 人】

19. 週3日 【 \_\_\_\_\_ 人】

20. 週4日 【 \_\_\_\_\_ 人】

21. 週5日 【 \_\_\_\_\_ 人】

<保護者連携>

22. 保護者会の回数(保護者学習会等も含む) 【 \_\_\_\_\_ 回/年】

23. 定期保護者面談の回数 【 \_\_\_\_\_ 回/年】

24. 在籍学級担任が同席する面談 【 有・無 】

25. (24が有)のうち、個別面談(在籍担任と同席)の回数 【 \_\_\_\_\_ 回/年】

<教室環境>

26. 専用教室がない学校数(英語ルーム・相談室等と併用) 【 校】
27. 指導に十分なスペースが確保されていない学校数 【 校】
28. 構造化、感覚特性に配慮されていない学校数 【 校】

<前年度進路(小学校回答)>

29. 通常の学級のみ(公立) 【 人】
30. 通常の学級のみ(私立) 【 人】
31. 通常級+特別支援教室 【 人】
32. 自閉症・情緒障害学級 【 人】
33. 知的障害学級 【 人】
34. 特別支援学校 【 人】
35. その他 【 人】

<前年度進路(中学校回答)>

36. 全日制(公立) 【 人】
37. 全日制(私立) 【 人】
38. 定時制(うち都立チャレンジ校) 【 人】
39. 定時制(その他) 【 人】
40. 単位制(うち都立エンカレッジ校) 【 人】
41. 単位制(その他) 【 人】
42. 通信制(うちサポート校併用) 【 人】
43. 通信制(その他) 【 人】
44. 高等専修学校 【 人】
45. 特別支援学校 【 人】
46. その他 【 人】

【学級1/2】R4都情研 自閉症・情緒障害特別支援学級調査(1)

<回答校>

1. 【 区立・市立・町立・村立 】
2. 【 小学校・中学校 】
3. 学校名 【 \_\_\_\_\_ 】
4. 記入者氏名 【 \_\_\_\_\_ 】
5. 開設年度 【 \_\_\_\_\_ 年】
6. 設置校の学区域内に居住する児童が何名いますか 【 \_\_\_\_\_ 人】

<児童の実態 在籍人数>(7月10日認可数)

7. 1年生の人数 【 \_\_\_\_\_ 人】
8. 2年生の人数 【 \_\_\_\_\_ 人】
9. 3年生の人数 【 \_\_\_\_\_ 人】
10. 4年生の人数 【 \_\_\_\_\_ 人】(中学は0にしてください)
11. 5年生の人数 【 \_\_\_\_\_ 人】(中学は0にしてください)
12. 6年生の人数 【 \_\_\_\_\_ 人】(中学は0にしてください)

<障害別人数>

※都情研調査係による、児童生徒の理解および適切な指導や教育環境、研修体制の充実を図るための教育的分類です。判断は指導にあたる担任に先生が行ってください。診断の有無は問いません。

・重複はしないでください。重なる部分もあると思いますが、現在学級での指導に重点を置いている方で分類をしてください。

13. ★自閉スペクトラム症(ASD) 【 \_\_\_\_\_ 人】  
※「自閉スペクトラム症(ASD)」とは、自閉症、自閉傾向、アスペルガー症候群、高機能自閉、広汎性発達障害(PDD)を含む。自閉スペクトラム障害という概念で統一します。
14. 自閉のうち知的に遅れありの数 【 \_\_\_\_\_ 人】  
※「知的発達の遅れなし」の基準は、おおむね学年相当の教科学習に参加できる程度とします。  
※「自閉スペクトラム症(ASD)」とは、自閉症、自閉傾向、アスペルガー症候群、高機能自閉、広汎性発達障害(PDD)を含む。自閉スペクトラム障害という概念で統一します。
15. 自閉のうち不登校状態の数 【 \_\_\_\_\_ 人】  
※「不登校状態」の基準は、年間欠席30日以上とします。
16. ★ADHD 【 \_\_\_\_\_ 人】
17. ADHDのうち知的遅れありの数 【 \_\_\_\_\_ 人】
18. ADHDのうち不登校状態の数 【 \_\_\_\_\_ 人】
19. ★情緒不安定 【 \_\_\_\_\_ 人】  
※「情緒不安定」とは、心因性の行動障害や不安障害が考えられる状態です。選択性かん黙(場面かん黙)、愛着障害、不適応状態等を含みます。
20. 情緒不安定のうち知的遅れあり 【 \_\_\_\_\_ 人】
21. 情緒不安定のうち不登校状態の数 【 \_\_\_\_\_ 人】
22. ★LD 【 \_\_\_\_\_ 人】
23. LDのうち知的遅れありの数 【 \_\_\_\_\_ 人】
24. LDのうち不登校状態 【 \_\_\_\_\_ 人】
25. その他 【 \_\_\_\_\_ 人】
26. その他のうち知的遅れありの数 【 \_\_\_\_\_ 人】
27. その他のうち不登校状態の数 【 \_\_\_\_\_ 人】

<「医師から診断されている障害名」別の数>

28. 自閉症 【 人】

29. ADHD 【 人】

30. LD 【 人】

31. 発達障害に関わる服薬をしている数 【 人】

<入退級について(前年度)>

32. 年度途中での入級の人数 【 人】

33. 在籍人数が多く、入級待機となったケース 【 有・無 】

34. 退級の人数(年度末分を含む) 【 人】

<退級の理由>

35. 課題の改善 【 人】

36. 欠席増 【 人】

37. 辞退 【 人】

38. 指導期間上限 【 人】



【学級2/2】R4都情研 自閉症・情緒障害特別支援学級調査(2)

1. 学校名 【 \_\_\_\_\_ 】

記入例:〇〇市立△△小学校

<教員について>

2. 教員総数 【 \_\_\_\_\_ 人】

<教員数>

3. 主幹教諭 【 \_\_\_\_\_ 人】

4. 指導教諭 【 \_\_\_\_\_ 人】

5. 主任教諭 【 \_\_\_\_\_ 人】

6. 教諭 【 \_\_\_\_\_ 人】

<代替教員数>

7. 産休代替 【 \_\_\_\_\_ 人】

8. その他 【 \_\_\_\_\_ 人】

<教員経験別の人数>

9. 0年 【 \_\_\_\_\_ 人】

10. 1~2年 【 \_\_\_\_\_ 人】

11. 3~5年 【 \_\_\_\_\_ 人】

12. 6~9年 【 \_\_\_\_\_ 人】

13. 10~19年 【 \_\_\_\_\_ 人】

14. 20~年 【 \_\_\_\_\_ 人】

<自閉症・情緒障害学級経験年数別(情緒障害等通級指導学級・特別支援教室含む)の人数>

15. 0年 【 \_\_\_\_\_ 人】

16. 1~2年 【 \_\_\_\_\_ 人】

17. 3~5年 【 \_\_\_\_\_ 人】

18. 6~9年 【 \_\_\_\_\_ 人】

19. 10~19年 【 \_\_\_\_\_ 人】

20. 20~年 【 \_\_\_\_\_ 人】

21. 特別支援教室から固定級への異動を経験した人数 【 \_\_\_\_\_ 人】

22. 校内委員会への参加 【 有 ・ 無 】

23. 取得免許の教科以外を担当している延べ週時間数 【 \_\_\_\_\_ 時間/週】

24. 自閉症・情緒障害学級担任以外の週指導時数 【 \_\_\_\_\_ 時間/週】

25. (24)のうち、都講師の週指導時数 【 \_\_\_\_\_ 時間/週】

26. (24)のうち、市区町村講師の週指導時数 【 \_\_\_\_\_ 時間/週】

27. (24)のうち、市区町村講師の週指導時数 【 \_\_\_\_\_ 時間/週】

28. 支援員・介助員の配置されている総時間数 【 \_\_\_\_\_ 時間/週】

<指導の実態>

<指導内容>

29. 特設自立活動時間数 【 時間/週】
30. どの教科を自立活動に入れていますか【複数選択可】  
国語・算数(数学)・英語(外国語・外国語活動)・社会・理科・生活科  
音楽・図工(美術)・家庭(技家)・体育(保体)・学活・道徳・総合
31. 自立活動で特によく取り上げている内容を4つまで選んで下さい。【4つまで選択】  
・学習態勢、基本的行動様式  
・言語、コミュニケーション  
・集団参加、社会的行動  
・運動能力  
・認知、概念形成  
・自己理解、行動調整  
・将来を見通した基礎学力
32. 主な指導形態 【 学年別・異学年合同 】
33. 学習習熟度  
主に国語、算数(数学)について学年相応の学習内容が理解できる児童生徒の割合はおよそ何割程度ですか  
【 ~2割・3~4割・5~6割・7~8割・9割~ 】

<交流について>

34. どの時間に実施していますか【複数選択可】  
国語・算数(数学)・英語(外国語・外国語活動)・社会・理科  
生活科・音楽・図工(美術)・家庭(技家)・体育(保体)・学活  
道徳・総合・行事

<交流及び共同学習の時間数別人数>

35. 週1時間未満 【 人】
36. 週1時間 【 人】
37. 週2時間 【 人】
38. 週3時間 【 人】
39. 週4時間 【 人】
40. 週5時間 【 人】
41. 週6~10時間 【 人】
42. 週10時間以上 【 人】
43. 学級独自の校外学習 【 有・無 】
44. 学級独自の宿泊学習 【 有・無 】
45. 評価方法と基準を通常学級と統一しているケース 【 有・無 】

<前年度進路(小学校回答)>

- 46. 通常級のみ(公立) 【 人】
- 47. 通常級のみ(私立) 【 人】
- 48. 通常級+特別支援教室 【 人】
- 49. 自閉症・情緒障害学級 【 人】
- 50. 知的障害学級 【 人】
- 51. 特別支援学校 【 人】
- 52. その他 【 人】

<前年度進路(中学校回答)>

- 53. 全日制(公立) 【 人】
- 54. 全日制(私立) 【 人】
- 55. 定時制(うち都立チャレンジ校) 【 人】
- 56. 定時制(その他) 【 人】
- 57. 単位制(うち都立エンカレッジ校) 【 人】
- 58. 単位制(その他) 【 人】
- 59. 通信制(うちサポート校併用) 【 人】
- 60. 通信制(その他) 【 人】
- 61. 高等専修学校 【 人】
- 62. 特別支援学校 【 人】
- 63. その他 【 人】